

## 令和元年 9 月定例会 建設環境経済常任委員会における意見等について

○商業振興(株)が行った不動産鑑定評価について、高砂商業振興(株)から提出があり次第、速やかに議会に報告すること。

○第 2 回アスパ高砂に関する調査検討委員会における質問事項(4 項目)について、高砂商業振興(株)に確認を取り、調査検討委員会で審議すること。

○イオンリテール(株)から説明を受けたアスパ高砂の活性化について、本来は、チェックリストを作成し、議会の意見(指摘)を踏まえた内容を聞くべきではなかったのではないかと。

※具体的には、

現在のテナントをどのように考えるのか。

最終的なリフォーム計画がどのようにするのか。

ナショナルブランドを入れる計画はあるのか。

リニューアル費用や時期などをどのように考えているのか。

一本化するが、リフォームしない危険性があるのではないかと。

○イオンリテール(株)から提案されている活性化の計画案が今の体制(第 3 セクター)で何故できないのか。特に 1 階の配置、住民票の交付など市民サービスコーナーの出先などは、第 3 セクターのほうがやりやすい。その内容は、昨年まで商業振興(株)(第 3 セクター)が提案していた。何故、イオンリテール(株)は、やりにくいのかを議論しなければならない。

○一体化をするメリットは何なのか。何が一体化しないとできないのか。

一体化をした後、結局、何もしない可能性があるのではないかと。

この論点については、市は責任をもって、しっかりとイオンリテール(株)と詰めてほしい。

○この計画(イオンリテール(株)の活性化案)について、イオンリテール(株)としては、物販を諦めて食品をメインとし、最大限、あのスペースを活用する方策であると思われる。

高砂市にとって、デイリーライフサポートなどは可能性が高い計画であると思う。今後、市として、取り組まなければならない事業が取り組める場所になる可能性があるのではないかと。新しいフォーマットで、新たな取り組みの S C になると思われる。

○高砂商業振興(株)を清算するための不足額を市が補てんするのではなく、第 3 セクターを継続させ、イオンリテール(株)の計画(活性化案)を第 3 セクターが取り組みに対して、支援してどうか。イオンリテール(株)と一緒に活性化に向けて、取り組むという提案をイオンリ

テール(株)に対してすべきである。市はその取り組みに対し、第3セクターへ支援すべきである。

○今まで3セクと2セクでSCの運営を行い、上手くいかなかった。税金が入れば動かすに  
くいところがある。フレキシブルに対応できるということが民間の強みである。

イオンリテール(株)から提出された計画(活性化案)は、これまでとは違う新しいことをやろうという計画である。その実現に向けて、自分たち以外のものが参入することになれば、思うような絵が描けないため、イオンリテール(株)のみで運営したいということである。

そのような中で、高砂市は市民の利便性を図るSCを守る必要はあるが、民間企業にフリー  
ハンドルを与えるということも必要であると感じる。

○イオンリテール(株)は、まず、高砂商業振興(株)の解散を求めてきている。そのためには、株  
主や高度化資金の問題があるので整理をするために、市は調査検討委員会を設置している。  
それをすべて整理した中で、今後、どのようにしていくのかを改めて議論していくときに、  
市がSCにどのように入っていくのかについての協議を行えばよいと考える。